

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について  
( 2014年10月 検針分 )

2014年5月～2014年7月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2014年10月 検針分の単位料金は 2014年9月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
▲ 1.3770 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 ▲ 36 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	2014年9月 (A)	2014年10月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	258.0974	256.7204	-1.3770
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	200.1039	198.7269	-1.3770

●平均原料価格

	単位	2014年4月 ～ 2014年6月	2014年5月 ～ 2014年7月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	87,340	85,790	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	88,560	88,740	
平均原料価格	円/トン	87,740	86,270	62,680

平均原料価格=LNG平均価格×0.9533+LPG平均価格×0.0506 (10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)  
= 86,270 - 62,680 = 23,500 円/トン  
(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2014年10月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	235.1474	256.7204	21.5730
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	177.1539	198.7269	21.5730

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2014年9月	(B) 2014年10月	影響額 (B)-(A)
26	7,334	7,298	-36

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)